

図書館企画展示の活動報告

附属図書館 竹下 真弓

図書館では「図書コミュニケーション」をキャッチフレーズに知的好奇心を共有する出会いの場として、月1回のペースで企画展示を行っています。閲覧は可能ですので、是非ご来館ください。また、本学卒業生と森田地区住民の方には貸し出しを行っています。詳細は附属図書館ホームページ (<http://www.jin-ai.ac.jp/lib/>) をご覧ください。

●2019年4月「本屋大賞受賞作品展」

2019年本屋大賞受賞作『バトンは渡された』瀬尾まいこ著をはじめ、候補作品9冊を展示しました。



●2019年5月「平成の時代を本で振り返る展」

18年分のランキングとその年に1位となった作品と一緒に展示しました。



●2019年6月「生活情報専攻のオリジナルカバー・帯展」

生活情報1回生「マルチメディア演習Ⅰ」の授業で製作したオリジナルカバー・帯を付けた図書を64冊展示しました。学生が選んでくれた様々な分野の本がずらりと並びました。



●2019年7月「創作絵本展」

本学の生活デザイン専攻2回生が「デッサンⅡ」の授業で創作した21作品を展示しました。ストーリーから絵本カバーまで全てオリジナル絵本です。見応えたっぷりの絵本に他学科・他専攻の学生たちも興味津々でした。



●2019年9月「図書館サポーター選書本」

図書館サポーターが書店で選書した図書など77点をおすすめのコメントを添えて展示しました。同年代の学生が選ぶ図書は、魅力的な内容が多いため、毎年人気のコーナーです。



●2019年11月-12月「サークルとコラボ企画」

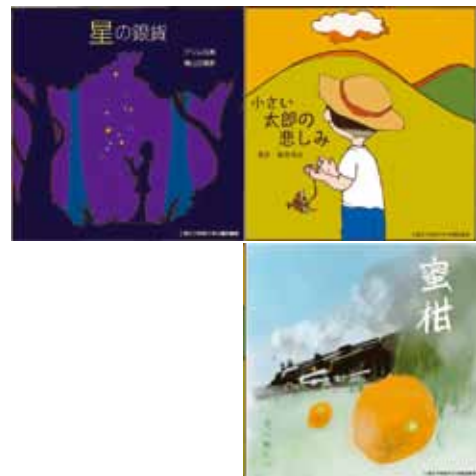
サークルで制作した作品とそのサークルに関連した図書を展示しました。紹介したサークルは、「猫部」、「漫画研究会」、「折り紙研究会」です。



●2020年1月「第7回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されています。その中から3作品（今年は、『蜜柑』・『小さい太郎の悲しみ』・『星の銀貨』）を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる様な「表紙デザインコンテスト」を行いました。優秀賞受賞者には、副賞として図書カードと作品を表紙にした文庫本を贈呈しています。

今年度優秀賞受賞作品



●2020年1月「小倉百人一首大会」

この大会は、百人一首を通じ親交を深めることを目的に開催しました。授業の空き時間や、お昼休みなどに56名の参加者が百人一首の魅力に触れていました。



今後も、図書館が様々な図書との出会いの場、また、人と人をつなぐコミュニケーション場、また安らぎの空間になるよう目指してまいります。